

施策評価シート（令和元年度実績）

施策名 施策4 青少年が健全に成長し、活躍できる地域をつくる

		施策コード	010004
1. 施策の体系と担当課			
第5次総合計画	将来像	将来像1 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち	
主管課	教育部 青少年教育課		
関係課	教育部 社会教育課、教育部 青少年人権教育交流館		

2. 施策の目標	
10年後の目標	
<p>地域の子どもは地域で見守り育てるという意識が高まり、地域団体の多様な連携と自主的な活動が進んでいます。放課後や休日における子どもたちの居場所があり、そこで友人たちと過ごす子どもたちがコミュニケーション能力を高め、次の世代の指導者として育っています。 青少年が健全に成長することで、若者が地域でいきいきと活躍しています。</p>	
10年後の目標に向かったの主な取組み	
市の取組み	
<p>○青少年健全育成について、家庭・地域・学校・関係機関と連携した啓発活動を推進します。 ○青少年健全育成関係団体の活動を支援するとともに、新たな団体・個人が活動に取り組むよう啓発を行います。 ○地域における青少年育成の指導者やボランティアの人材発掘、育成を行います。 ○悩みを抱える青少年の健全育成のため、家庭・地域・学校の連携を深めます。 ○子どもの居場所づくりと、協調性やコミュニケーション力を高める体験活動を行います。</p>	
市民・団体・事業所等の取組み	
<p>○大人としての責任と自覚ある生き方を青少年に示します。 ○青少年健全育成関係団体は、地域における人間関係の構築、規範意識の醸成のための事業を実施します。また、後継者の育成に努め、組織の強化を図ります。 ○地域で活動する各種団体は、青少年を有害環境から保護する活動や、子どもの安全を見守る活動などを通じ、自主的な活動と組織の強化に努めます。</p>	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
<p>2020年3月に大阪府青少年健全育成条例が改正され、社会全体で青少年を健やかに育むため、大人に青少年を有害な環境から守る責任が今まで以上に求められるようになり、社会の中での青少年の占める位置と大人の責務が変化している。</p>	
新たな市民ニーズ	
<p>地域のつながりが希薄化する懸念がある中で、地域で青少年の健全育成に携わる青少年指導員の方々のスキルアップの機会を増やすことで、様々な相談について、今まで以上に適切な対応ができるよう求められている。 講座事業等が、学校も学年も違う子どもたちが交流し、様々な個性をもった子ども同士がお互いを理解し尊重できる場となることが求められている。</p>	

4. 施策にかかるコスト								
		単位	H30予算	H30決算	R元予算	R元決算	R2予算	
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		6.76		7.04	
		嘱託員数			4.82		4.79	
	人件費	直接人件費	千円		57,171		56,922	
		間接人件費			7,912		9,899	
	直接事業費			18,363	17,257	18,473	18,418	15,985
	間接事業費				731		600	
フルコスト		18,363		83,071	18,473	85,839	15,985	
財源内訳	使用料及び手数料	千円			84		84	
	国庫支出金							
	府支出金		983	1,178	989	1,248	903	
	市債							
	その他		113	129	114	612	287	
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		17,183	81,764	17,286	83,979	14,711	
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		17,183	15,950	17,286	16,558	14,711	
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1		青少年活動実施団体数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体	毎年度	70	増加	59	59	70	70
成果指標2		講座・イベント参加者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人	毎年度	33,000	増加	33,325	32,776	33,000	33,000
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和元年度実績）									
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性	所見
				人件費					
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込)		
放課後子ども教室推進事業 (社教)	放課後子ども教室の参加人数(子ども・大人の合計)			1,994	2,031	1,832	2,215	成果	A: 向上を図る B: 現状維持 多くの子どもが参加できるよう、府の団体・活動プログラムなどを活用して活動内容の研究や工夫をしていく。また、募集について、積極的に周知を図る。
	R元実績	18,181	人						
	最終目標値に対する達成率	-		4,903	5,241	2,498	0	資源配分	
青少年センター講座開催事業 (青教)	講座参加人数			3,668	3,647	3,631	3,902	成果	A: 向上を図る B: 現状維持 子どもたちのコミュニケーションや運動、学力等の能力向上と、安全安心な放課後の居場所として、メニューを工夫して成果を上げるよう努める。
	R元実績	6,710	人						
	最終目標値に対する達成率	-		6,029	5,320	5,061	0	資源配分	
青少年指導員連絡協議会事業 (青教)	会議・パトロール等への青少年指導員参加率			974	973	963	1,004	成果	A: 向上を図る B: 現状維持 地域の青少年の見守りや、身近な相談の窓口として、青少年指導員の存在は大きい。活動が円滑にできるよう努める。
	R元実績	60	%						
	最終目標値に対する達成率	85.7%		3,629	4,149	3,558	0	資源配分	
こども会育成会育成事業 (青教)	行事総参加人数			467	490	390	475	成果	A: 向上を図る B: 現状維持 地域の子ども会が減少する中、復活を目指す地域もあり、そうした地域の声を聞き逃すことなく、育成を図っていく。
	R元実績	336	人						
	最終目標値に対する達成率	33.6%		4,656	3,667	2,912	0	資源配分	
青少年野外広場維持管理事業 (青教)	こども広場利用人数			310	297	212	274	成果	A: 向上を図る B: 現状維持 市民が安全・安心に利用できるよう、施設の維持管理に努める。
	R元実績	12,002	人						
	最終目標値に対する達成率	-		2,732	3,654	2,360	0	資源配分	
成人のつどい開催事業 (青教)	成人のつどい参加率			1,151	1,185	1,199	1,205	成果	A: 向上を図る B: 現状維持 新成人が社会人の一員として自覚を持ち、郷土への思いを深めるイベントとして、今後も新成人の自主性を重んじつつ発展させていく。
	R元実績	82.5	%						
	最終目標値に対する達成率	91.6%		5,302	5,323	4,424	0	資源配分	
少年の主張大会開催事業 (青教)	少年の主張来場者数			216	219	216	239	成果	A: 向上を図る B: 現状維持 小・中学生が、自分の思いを他人に伝えるため必要な、論理的な思考や、話し方といったコミュニケーションに係る能力を育む機会として、今後も継続する。
	R元実績	350	人						
	最終目標値に対する達成率	-		3,478	3,300	2,602	0	資源配分	
吹奏楽団育成事業 (青教)	定期演奏会入場者数			1,317	1,307	1,117	1,290	成果	A: 向上を図る B: 現状維持 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため定期演奏会は中止した。市内だけではなく、近隣市町に赴き、良質な音楽による感動を伝える活動を続けており、継続的に活動できるよう今後も支援を続けていく。
	R元実績	0	人						
	最終目標値に対する達成率	-		1,958	2,133	3,144	0	資源配分	

青少年健全育成補助事業 (青教)	ボーイスカウト・ガールスカウトのべ活動参加者数		30	30	30	30	成果	A：向上を図る	ボーイスカウト活動を通じた活動により、本市青少年の健全育成に尽力されており、今後も支援していく。
	R元実績	178 人	1,407	1,268	1,348	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-							
青少年国際交流事業 (青教)	応募者数		0	0	1,991	0	成果	A：向上を図る	青少年が国際感覚を養え、また、カルバーンシティ市との友好関係を深める機会として事業を進める。
	R元実績	5 人	0	0	3,878	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-							
青少年人権教育交流館庶務事業 (青人)	館利用者数		0	0	0	0	成果	評価対象外	
	R元実績		0	0	0	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率								
青少年人権教育交流館運営事業 (青人)	館利用者数		2,141	2,573	2,660	2,503	成果	B：現状維持	施設の老朽化は否めないが、子どもたちが安心して集う居場所として、館運営に努める。
	R元実績	35,928 人	3,121	3,500	3,854	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	89.8%							
低学年育成事業 (青人)	日常活動参加延べ人数		2,568	2,405	2,508	0	成果	B：現状維持	子どもたちの安全・安心な放課後の居場所として、また、集団生活を学ぶ場として今後も維持していく。
	R元実績	11,739 人	5,983	5,940	9,256	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	83.2%							
講座・行事等開催事業 (青人)	講座・行事参加延べ人数		1,224	1,186	1,017	1,394	成果	B：現状維持	子どもたちの能力の向上と、学年の違う子ども同士が交流する場として今後も維持していく。
	R元実績	5,769 人	8,718	7,214	7,866	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	72.1%							
人権啓発・交流事業 (青人)	事業総参加人数		0	0	0	0	成果	A：向上を図る	人権に対する感覚を養い、他人の痛みを感じることができるよう、今後も事業を積極的に進めていく。
	R元実績	4,331 人	6,706	6,733	7,052	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	72.1%							
青少年育成支援事業 (青人)	青少年育成支援事業利用人数(延数)		933	914	652	900	成果	B：現状維持	進学等に悩む子どもや、保護者の相談に応じ、様々な情報を提供することで、悩みを持つ方たちの力となるよう事業を続けていく。
	R元実績	429 人	8,828	7,641	7,008	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	42.9%							

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	概ね達成。青少年関連事業の開催回数、参加者減については、児童数の減少が影響している。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性
各種事業は、本市の未来を担う子どもたちが安心して自らの能力を伸ばし、交流を深める場である。より多くの子どもたちが参加できるよう、ニーズを把握し事業内容の充実に努め実施する。